

客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料

学業成績の評価

第16条 学業成績の評価については、次のとおりとする。

- (1) 成績の評価は、その教科の試験評価、平素の学習状況及び出席状況を考慮し、総合的に評価する。
- (2) 成績の評価は秀・優・良・可・不可の5段階とし、その評価基準は次のとおりとする。

評価	判定	基準	G P
秀	合格	教科に対する理解および日常の授業態度が他の模範となる優秀な者 (目安：定期試験90点以上、且つ教科の出席率90%以上)	4
優	合格	教科に対する理解および日常の授業態度が著しく優秀な者 (目安：定期試験80点以上、且つ教科の出席率85%以上)	3
良	合格	教科に対する理解および日常の授業態度が良好な者 (目安：定期試験60～79点、且つ教科の出席率85%以上)	2
可	合格	教科に対する理解および日常の授業態度が妥当と認められた者 (目安：再試験・追試験60点以上、且つ教科の出席率85%以上)	1
不可	不合格	合格と認められるに足る教科理解と授業態度を示さなかった者 (目安：追試60点未満、または教科の出席率85%未満)	0

- (3) 秀・優・良・可の評価を得た教科が単位を取得、不可評価を得た教科は単位未取得とする。

客観的な成績分布状況の把握について

◎G P Aの算出方法

<G P A計算式>

G P A = 各科目の { (単位数) × (評価のG P) } の総和 ÷ 総履修単位数

- (1) 各科目の成績評価に対するG Pを出す
- (2) 「単位数×G P」の総和を「総履修単位数」で割る

G P Aの算出方法 (例)

科目	単位	成績	GP換算
専門A	2	秀	4
専門B	2	優	3
一般A	3	良	2
一般B	2	可	1
一般C	3	良	2
総単位数	12		

専門A 2単位×4GP=8

専門B 2単位×3GP=6

一般A 3単位×2GP=6

一般B 2単位×1GP=2

一般C 3単位×2GP=6

※総単位数には、不合格科目の単位も含まれる

総和→{8+6+6+2+6=28}÷総単位数12

G P Aは2.33

◎下位1／4に該当する人数について

G P A値の数値の高い順に並べ、下位1／4のものが該当となる。

人数は、各学科の受講人数で算出

【例】40名受講の場合 $40 \div 4 = 10$ 名